

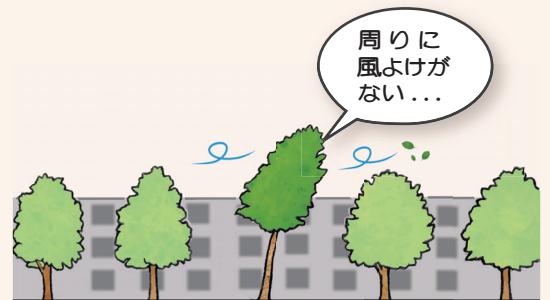


樹木の安全点検 — 台風で倒れやすい木

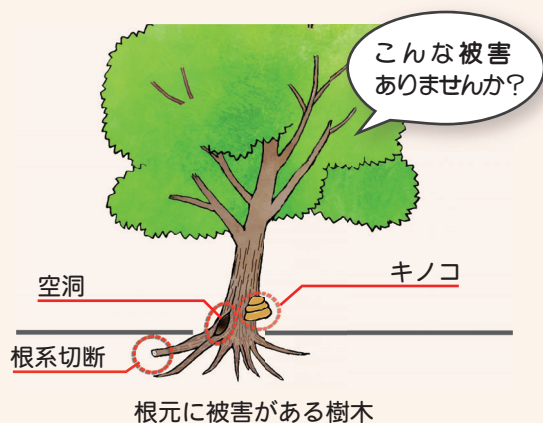
台風の際は大雨によって地盤が緩み、強風で樹木が倒れやすくなっています。そのため、事前にどのような樹木が倒れやすいか見極めて適切な対策を行うことが必要になります。

立地環境

風よけになるものなく、1本だけで立っている樹木は、注意が必要です。また、周りの樹木や建物よりも高く成長している場合も風の影響を強く受けてしまいます。樹木が倒れないためには、根が十分に広がって伸びられる環境が必要なので、根元周りの状況も確認しましょう。



風よけがない樹木・周りの樹木や建物よりも高い樹木は風を受けやすい



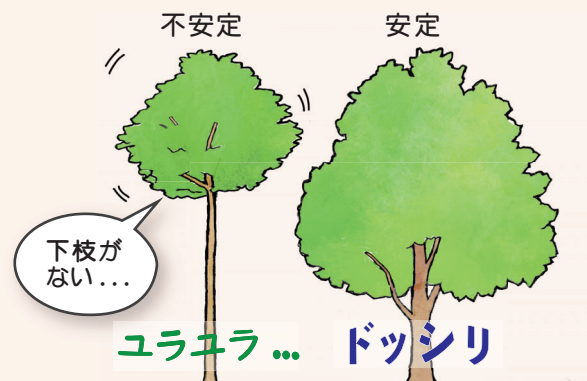
根元の被害

根元が腐っていたり、空洞になっていたりするとそこから折れてしまうことがあります。外側から被害が見えない場合でも、キノコが根元を腐らせていることもあるのでキノコがないかチェックしてみましょう。また、工事などによって根が切断されていると倒れやすく危険な場合があります。

樹木の形

下枝が少なく、幹が細長く成長している樹木は風圧で根元に負担がかかりやすく、倒れる可能性が高いので注意が必要です。

周りを囲われた環境の場合、日照を求めてそのような形に成長しやすいのですが、隣の木が伐採されたり、工事で建物が取り壊されたりするなど、風当たりが変化したときは、特に気を付けましょう。



下枝が少なく、幹が細長い樹木と安定した形状の樹木の対比